

早発卵巣不全(POF)ファクトシート

対象: 女性人口のおよそ1~4%に早発卵巣不全(POF)がみられます。それは、米国だけで約 25 万人から 100 万人の女性に該当します。

POFとは: 女性は思春期から 50 歳ぐらいまで毎月1つずつ排卵するために、通常卵巣に十分な卵子をもって生まれ、卵子の供給量を使い果たしたその時点で閉経します。ただし、POFの少女または若い女性においては、若くして卵巣の卵子の供給になにかが起ったのです。卵子の喪失、卵子の機能障害あるいは若年での卵巣の摘出などが考えられます。更年期とは異なり、これは自然に発生するものではありません。この卵巣機能の喪失は、自然な閉経と考えるには若すぎる年齢で起こります。早発卵巣不全は、早ければ 10 代で、通常は 40 歳以下の女性に起こります。

症状: POFの女性は、生理が止まります。ときには、その生理は、数ヶ月ふつうにあり、次の数ヶ月なかったりします。また、ホットフラッシュ(のぼせ)あるいは夜間の発汗もみられます。生理があっても、のぼせがある場合もあります。その他の症状として、不眠、気分のむら、膣の乾燥、倦怠感、性欲の減退、性交痛、膀胱調節障害なども含まれます。

原因: POFの背後にある原因は、多くの場合不明です。ただ、小数の女性については原因が発見されています。原因には次のものが含まれます。

染色体/遺伝性

- ターナー症候群
- スワイヤー症候群
- アンドロゲン不応症
- 脆弱性X症候群関連
- 家族性

酵素欠損/代謝性

- ガラクトース血症
- 複数の輸血処理によるサラセミアメジャー
- ヘモクロマトーシス

化学療法/放射線療法関連

外科的 - 卵巣の摘出

ウイルス感染

異常なゴナドトロピン(FSHおよびLH)分泌または作用

自己免疫疾患 POFに関連する疾患例:

- 甲状腺機能異常
- 多内分泌機能障害I型およびII型
- 上皮小体機能低下症
- 関節リウマチ
- 特発性血小板減少性紫斑病(ITP)
- 糖尿病
- 悪性貧血
- 副腎機能低下症
- 白斑
- 全身性紅斑性狼瘡 - または、SLE あるいはループスと呼ばれる

診断: 生理がこないとき、またはのぼせがあるときは、ただちに医師に診てもらってください。POFは単なるGYN(婦人病)の問題ではありません。それは、内分泌障害であり、何らかの処置を施すべき深刻な健康状態です。医師に診てもらう準備をしてください。かかきつけの医師に月経周期の変化、のぼせなどの症状、また卵巣手術や放射線治療を受けたかどうかについて話をする準備をします。内分泌障害、骨盤感染症などの感染症、またはPOFの家族歴といった病歴の有無について、医師に話してください。医師によっては、あなたの症状がストレスによるものとも考えることもあります。POFを問題として除外するために、テストを要求する心構えをしてください。このファクトシートを持参して、医師に見せ、別々の月に行う 2 回のFSHテストを含めた精密検査をお願いしてください。FSHは卵胞刺激ホルモンの略で、卵巣が正しく機能しているかを示す血液検査のことです。通常のFSHレベルは 10~15mIU/ml 以下で、POFの女性はFSHレベルが 40mIU/ml (閉経後域)を超えていることがあります。POFとその原因を診断するために行われたテストのより詳細なリストについては、POFWeb サイトをご覧ください。

結果: POFの女性の健康上の問題には、骨粗しょう症や心臓疾患のリスク増加が含まれます。POFは、さらなる治療を必要とする可能性のある自己免疫疾患(甲状腺疾患、糖尿病または副腎疾患など)に関連することがあります。卵子に問題があるために、その主要な結果が不妊症であり、非常に衝撃的である場合が多いのです。多くの女性が、子供を作ることを決める時間を持つ前にその選択肢を失ったと述べています。POFの女性のおよそ6~8%が妊娠します。誰がその6~8%に入るのかを知る方法はありません。

治療: 一般的に、POFは閉経した女性に投与されるより用量を増してホルモン代償療法で治療されます。低い用量で開始してあなたの身体が再びホルモンのある状態に慣れてきたら、次第に適量まで増加されます。ホルモン代償療法は、通常、エストロゲンとプロゲステロンですが、テストステロンが含まれることもあります。経口避妊薬は、ホルモン代償療法の代替になることがあります。また、POFの女性は、骨粗しょう症や心臓疾患による健康上のリスクを低下させるために、健康的な食生活や定期的な運動(エアロビクスおよびウエイト・トレーニング)をするようにしてください。現時点では、POFと診断された人の受胎能力を回復させる治療はありません。

サポート: 子供を作るためにどうするか、HRT(ホルモン代償療法)を受けるか、またはその他の方法をとるか、「今」決めてしまいたいとお思いかもかもしれません。確定診断が出るまでどうか十分な時間を取り、また、ある程度リサーチを行ってください。POFサポートグループがお手伝い

いたします。私たちの目標は、コミュニティー、サポート、または情報をPOF(早発卵巣不全)の女性やそのご家族に提供して、一般の方々のPOFに対する認識や理解を深め、この病気をより理解して医療専門家の方々とともに治療にあたることです。

ご連絡は次のところまで:

PO Box 23643, Alexandria, VA, 22304 • 703.913.4787 • Eメール: info@ipofa.org • Web サイト: www.ipofa.org